

第2次岡崎市観光基本計画(案)に対する意見と市の考え方

【概要】

- ・パブリックコメント募集期間: 令和5年9月7日(木)～10月6日(金)
- ・意見提出方法: 直接持ち込み、郵送、ファックス、電子メール、電子申請窓口
- ・提出人数: 17
- ・意見件数: 63

※いただいたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約しています。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
1	全体	南部地域に関することが掲載されていないのが気になります。岡崎駅は市中心部のQURUWAエリアに次ぐ交流拠点にしていくべきと思います。	本計画は、アフター大河の展望として、南部地域を含む市内各地域の魅力に着目した観光施策を推進してまいります。
2	全体	サスティナブルツーリズム、ナイトタイムエコノミー、マーケティング、オーバーツーリズムなどのカタカナ用語は理解が難しい。	計画書に用語解説を掲載しました。
3	全体	観光を考える時、宿泊施設の充実、食事場所の確保、観光地を巡る足の確保が先決のように思います。	宿泊施設や飲食施設などを運営する民間事業者の本市への投資意欲が高まるよう、本計画を通して本市の観光魅力向上に努めてまいります。
4	全体	市内で運転していると、幹線道路以外は信号のタイミングがバラバラで、車で遊びに来ようと思わなくなりました。スムーズに走行できるよう信号を調整してほしい。	警察所管の信号に関して、観光事情のみで信号のタイミングを変更することは出来ないと考えますが、観光客目線の貴重なご意見として参考にさせていただきます。
5	目的・位置付け	「観幸都市」について、事業者だけでなく市民の幸せを祈るスローガンは大変感銘を受けています。この考えは変化させずお互いの距離(官民含めて)縮めていくことが重要と感じます。	「観幸都市」をスローガンとして、事業者を含む市民の皆様の観光への関心・参画・共感・誇りの醸成につながるよう取り組んでまいります。
6	基本施策1	大河ドラマの特需はゆっくりと下がるものの「岡崎」のブランドは不動のものとなり、「岡崎ってどこ?」という10数年前聞かれた声はなくなった。他都市に比べ観光についての取り組みは京都にも引けをとらない企画力で岡崎は頑張っていると思います。一方、アプリなどで家康行列の申し込みを行うことが高齢者のハードルになっていることも否めない。	今後も、全国で観光分野におけるデジタル化が進むことが想定されます。デジタル機器に不慣れな高齢者等への配慮については、本市の引き続きの課題として認識しております。
7	基本施策3	若者人口の流入促進について、東海オンエア効果により若者が増えている。マナーの良い若者が多い一方で、治安悪化への懸念も感じられる。	若者観光客増加に伴う治安悪化への懸念も、いわゆるオーバーツーリズムの一つと考えます。市民の皆様とも連携して、引き続き、来訪者に対してマナーの大切さを呼び掛けてまいります。
8	全体	交通について、岡崎の玄関口の康生通の殿橋交差点は右折車線の追加をしないと朝夕の渋滞がひどく、早急な改善をお願いしたい。	交差点改良については本計画の所管外となりますが、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
9	全体	一過性の観光イベントを増やすよりも、岡崎に多数残る歴史的価値物、文化財の保護・活用への予算を増加してほしい。	様々な観光事業を実施することに加えて、関係部署等と連携して文化財等の保護・活用にも努めてまいります。
10	基本施策1～3	目標数値について、設定値が低いと思います。もっと高い目標数値の設定と具体的な施策案を導き出して観光戦略を立てていくべきと思います。	基本施策の目標数値について、最新の統計データ等を加味し、一部について上方修正しました。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
11	基本施策5	観光マーケティングについて、IT・デジタルの力を使い、分析し、戦略に繋げていくことは非常に期待が持てます。もっとツールを拡大していきつつ、上手く活用することを願います。	ご意見のとおり、観光分野におけるデジタルマーケティングを積極的に導入してまいります。
12	重点事業	重点事業1～4すべてとても大切だと思います。まずは細かなアイデアから企画することもさることながら、どのようにアウトプットすることが効果的に注力し、発信力が重要だと思います。大胆に行きましょう！	ご意見のとおり、本計画で記載した各重点事業を積極的に進めてまいります。
13	全体	観光産業都市の実現に向けて、市内がもっと一枚岩となってほしいと思います。本年の”どうする家康”イヤーを振り返ると、意識の統一については感じづらかったです。	ご期待に添えるよう、観光分野における関係部署の連携強化に努めてまいります。
14	重点事業1	城は単独で紹介するより、構築時期や目的や出来事によって関連する地域ごと(周辺市域も)紹介して、廻るための情報発信をしたらどうでしょうか。例えば、「岡崎城・天恩寺・豊川牧野城・設楽原馬防柵・長篠城」や、「岡崎城・日進岩崎城・長久手古戦場・小牧山」あるいは「山中城・登屋ヶ根城・岩略寺城」など。	ご意見のとおり、テーマやストーリー性のある観光情報の発信は歴史観光を推進する上で重要な視点であると考えます。今後の取組の参考とさせていただきます。
15	全体	岡崎公園の桜は有名ですが、秋の紅葉はほとんど知られていません。三河で有名な香嵐渓は交通渋滞が知れ渡り、渋滞なしで来られる東公園と岡崎公園の見どころをセットで売り込んだらどうでしょう？。	紅葉情報については、現在も観光情報サイト「岡崎おでかけナビ」において、岡崎公園、東公園、奥殿陣屋などを組み合わせたモデルコースを紹介していますが、より多く方の目に留まるよう更に工夫してまいります。
16	重点事業1	清海堀に入るツアーが11月の土日祝祭日に実施されていますが、来園者への周知期間が足りません。さらに、土日祝祭日に限定せず、希望する人が事前にお出かけナビ等の窓口で申し込めるようにしたら、貴重な体験を希望する人が増えることでしょう。小学生の夏休み研究のために、7・8月に企画しても宜しいのではと思います。	より多くの方や幅広い世代の方が参加できるよう、いただいたご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
17	重点事業1	自転車駐輪場が岡崎公園の国道1号沿いに設けてあり、公園内の景観のために喜ばしいことです。ドラマ終了後も継続されることを望みます。二の丸広場で開催されていた盆栽・菊花展が多目的広場に場所を変えて行われるのは良いことと思います。継続されることを希望します。	駐輪場やイベント会場などは場所の制約もありますが、利用者の利便性向上に向けて、引き続き様々な工夫してまいります。
18	重点事業4	外国人観光客へのアンケートでは、「旅行消費額」「市内宿泊数」「満足度」「訪問回数」を聞いてほしいです。	外国人観光客へのアンケートの充実は本市の課題の一つといえます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
19	基本施策1	グラフに具体的な数値があるとわかりやすいと思います。	数値を表示したグラフに修正しました。
20	全体	駐車場不足への対応について記載してほしい。	マイカーだけでなく、バス、タクシー、シェアサイクルなどの様々な移動手段の利用を推奨しつつ、それらを活用した周遊企画等にも積極的に取り組んでまいります。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
21	重点事業2	本宿地区で計画中の民間商業施設は、東部地域、額田エリアにとって大きなインパクトのある施設になると思うが、そこから観光客を波及させるための取り組みが今後求められると思います。	東部地域で計画中の商業施設については、事業者と連携に向けた協議を開始しています。引き続き、商業施設と連携した観光客の回遊施策について協議してまいります。
22	目的・位置付け	観光客満足度と市民満足度の%程度を比べた時、市民満足度の方が低いのが気になります。対外的に良く見られるのは良いのですが、やはり市民がより満足することが対外的に伸びるのだと思います。それには、市民に理解してもらい、それにはどうするかと真剣に考えることが必要だと思います。グルメサイトは沢山あるけど、やはり本当に美味しい物を知るために地元の人とコミュニケーションを取り、地元の人が行く店をチョイスすることが多いことをご存知ですか？一見さんやブーム頼みのものなら誇大広告で乗せられる人もいるでしょう。やはり岡崎は京都、奈良に続く一流観光地の素地があるとおもいます。その自覚を持った市民でありたい。まだまだ市民に行き渡る努力が足りないと思います。	本計画は観光に対する市民満足度の向上を最終目標としています。ご意見のとおり、市民の皆様が本市の歴史・文化・自然・食等について関心を持ち、地元に誇りを持つことを観光振興の目標として取り組んでまいります。
23	基本施策1	岡崎市が最初に着手すべきは「東海オンエア」が国内向けに「岡崎でなければならない」強烈な動機付けの役割を果たしてくれている間に、国境を跨いででも岡崎に来たいと思わせる柱をもう一本立てることにある。今回の計画上は、その役割を家康公に果たしてもらい意図かと推察するが、先行する静岡県の実績を考慮すれば、最低でも家康公ゆかりの寺社・仏閣・史跡・街並みの一帯を「世界遺産暫定リスト」へ登録するレベルの取組が必要。	岡崎訪問への動機づけの獲得は、本市の重要な課題として認識しています。ご意見のとおり、その方策の一つとして、「家康公生誕の地」「三河武士発祥の地」という、唯一無二の価値を最大限活用してまいります。世界遺産暫定リストへの登録は直ちに叶うことではありませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。
24	基本施策1	インバウンドを重視するのであれば、国の経済安保戦略の動向と外交関係悪化に伴う出入国禁止措置のリスクを常に念頭に置いた計画内容とすべきでは。加えて、ターゲットを今後他市との奪い合いになっていく「若者」にするのであれば、「いずれ必ず大人になる児童・生徒」に対する取り組みとして、国内外の義務教育の学校カリキュラムと連動した事業が必要ではないか。	インバウンドについては、国際情勢等を注視しつつ、国の「観光立国推進基本計画」を踏まえて、愛知県や近隣市と連携を図りながら進めてまいります。また、若者をターゲットとして観光誘客を進めてまいります。若者を施策の入口として、その施策効果が児童・生徒を含む幅広い世代に波及するよう、各種取組を進めてまいります。
25	目的・位置付け	『本市における「観光」の位置付け』に記載された「地域活性化の切り札」を「100年先も「選ばれるまち」であり続けるための切り札」に変更。	「100年先も選ばれる」との思いには共感します。そのためにも、観光が「地域活性化の切り札」として、持続可能な地域づくりに貢献していくことが重要と考えます。
26	重点事業1	令和3年3月に開催された文化審議会世界文化遺産部会(第7回)我が国における世界文化遺産の今後の在り方(第一次答申概要)を踏まえ、◆文化審議会による暫定一覧表への将来的な追加を目指し「持続可能な保存・活用方法の確立と、国際的な価値の高さ・地域とのかかわりの深さや自然との共生や災害対応力の継続的な情報発信」の一文を追加。	世界文化遺産に関して、現時点では市民全体の気運が十分でないことを踏まえて本計画への具体的な記載は控えさせていただきますが、本市の歴史文化資産を観光分野で活用していく取組は、引き続き、積極的に進めてまいります。
27	重点事業1	⑧歴史・伝統・文化を柱とするインバウンドの推進を、「歴史・伝統・文化を柱とする、経済安保戦略と国際関係の動向を踏まえたインバウンドの推進」に修正。	各重点事業の記載後に「※印」にて、社会情勢等を踏まえることを明記しています。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
28	重点事業3	⑨「未来の若者」への先手を打った積極的なPR、岡崎での思い出づくり を追加。	本計画への記載は控えますが、今後進めてまいります様々なマーケティングにおいて、本市の観光と地元の子どもたちとの関わり方や連携について研究してまいります。
29	基本施策1	大河ドラマによる観光特需を一過性のものにしなという考え方はとても大事ですね。 家康公時代の史跡(大樹寺、隋念寺等)をさらに磨き、併せて以降の家康公が生まれた城下町としての風情(伝馬通り、二十七曲り等)の魅力を高めていくことが良いと思います。	大河ドラマによる観光特需を一過性のものとしなという考えの下、本市の重厚な歴史・伝統・文化等の強みを活かした取組を積極的に進めてまいります。
30	基本施策1	家康公行列やその他の企画では「どうする家康」出演の方をゲストに迎えるなどして、ドラマとの関連を途切れさせない事が良いと思います。	大河ドラマのストーリーや登場人物に着目した観光スポットや観光コンテンツの確立を始め、周遊コースの設定など、家康公と共に岡崎時代を生きた家族や家臣等をテーマにした取組を進めてまいります。
31	基本施策2	リポートして頂くためには一度では見て回りきれない数多くの見所が必要かと思ひます。街を歩いていただくーお城を見ていただくーグルメを楽しんでいただくという流れになるように、それぞれの部分で見所を多く準備し各場面の内容を充実させていくことが良いと思ひます。	ご意見のとおり、リピーター獲得のためには、観光コンテンツの充実・拡大を図り、ルート化することも重要となります。こうした視点を大切にし、事業者等と連携した取組を進めてまいります。
32	基本施策2	美術博物館での「どうする家康」関連展覧会は素晴らしい内容で市外からも多くの来場者があつたかと思ひます。あのような家康公関連の内容の濃い展覧会はリピーターを増やすかと思ひます。	美術博物館は、家康公や家臣団の事蹟、市内の寺社に伝えられた文化財を発掘、調査研究し、展覧会を通じて広くその価値や意味を知っていただくよう努めております。観光の観点からも重要な施設であり、リピーターを含め多くの方に来場していただけるよう取り組んでまいります。
33	重点事業1	ドラマに沿った観光スポット、コンテンツ、周遊コース」の設定。例：築山御殿があつたであろう場所の明示、有力家臣たちの住居の明示などで見所を増やす。	観光スポットの明示は重要となります。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
34	重点事業1	老若男女が街を回りやすいようにレンタサイクルを増やし、自転車専用道路コースを設定する。(エコにも大きくつながります)	自転車を使つての観光周遊は本市観光の一つの魅力となっています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
35	重点事業1	「大河ドラマ館」後の「家康館」の展示はただ単に以前に戻すのではなく、ドラマ「どうする家康」を意識したものにしてはどうでしょうか。今回築山殿や家臣たちが大きくとりあげられましたのでそのあたりを意識すると新鮮かと思ひます。	大河ドラマに登場した家康公の家族や家臣団にまつわるエピソードなどは、今後の歴史観光の新たな魅力として積極的に活用してまいります。
36	重点事業2	東岡崎から桜の城橋、中央緑道、箆田公園まで素晴らしい流れが出来ました。あとは箆田から岡崎城までのルートを城下町にふさわしいものにすることが良いと思ひます。(例：犬山城へ続く城下町ストリート)	乙川を囲む「Q」の字の回遊動線「QURUWA」周辺では公民連携によるまちづくり事業が進んでおり、観光客にも乙川を含む城下町岡崎の魅力を楽しんでいただきたいと考えています。
37	重点事業1	東岡崎駅が新しくなると聞いております。家康公生誕地に関連した玄関口としての構え、モニュメント等が欲しいところです。(例：金沢駅の鼓門)	東岡崎駅周辺では、鉄道事業者と協力し駅西側の橋上駅舎、南北自由通路、バスターミナル、駅ビルの一体整備を進めてまいります。家康公生誕地に関連したモニュメントとしては、東改札から商業施設をつなぐペDESTリアンデッキ上に騎馬像があります。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
38	目的・位置付け	観光が市の成長戦略の柱、地域活性の切り札ということとは大変な決意で取り組む必要があると思います。今後の街づくりを進めるうえで先ず最初に観光、歴史の観点から見ていく必要があるかと思います。	本市の観光推進において大切なことは、市民の皆様が本市の歴史・伝統・文化に関心と誇りを持つことであると考えます。まちづくりに関しても、こうした価値を共有し、進めてまいります。
39	重点事業1	ユニークベニュー（泊）部分を作り（例えば城泊、寺泊。インバウンド含め）”観光”目的だけでなく、宿泊目的にもポイントを置くのはどうか。城下に、キャンプもしくはキャンピングカーなど城を見ながら宿泊できてもおもしろいかもです。キャンプ人口増加に供い一案です。	宿泊客の獲得は本市の課題として認識しています。城泊などの新しいスタイルの宿泊にも引き続き、注目してまいります。 ※「ユニークベニュー（Unique Venue:特別な場所）」とは、「博物館・美術館」「歴史的建造物」「神社仏閣」「城郭」「屋外空間（庭園・公園、商店街、公道等）」などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。（観光庁HPによる）
40	重点事業3	交通（足）部分が弱いため、イベント期間中は周遊バスを出す。 ※今回の大河でも、駅でそういったお声をよく聞きます・・・。	催事内容や開催場所にもよりますが、周遊バスやシャトルバスが効果的であるのご意見には賛同します。今後必要に応じて活用してまいります。
41	重点事業1	現状看板が無い観光スポット（ローカルな場所）や、案内表示が古くなっている所も有るので、スポットの看板設置や更新を追記して欲しい。観光スポットの看板とデジタル技術を連携出来るようにすると情報の共有や拡散出来ると思います。	案内板については、破損や老朽化などがあれば順次、更新しております。今後、更新の際には、デジタル技術の活用も含めて検討してまいります。
42	重点事業2	夏の日中は年々厳しく、ナイトタイムの活用は非常に良いことだと思います。観光スポットも夜の演出をして観光客の周遊促進になると思います。また、高齢者は早朝に活動をするので、モーニングタイムの小イベント等の企画も面白いのではないかと思います。	ナイトタイムを活用した観光を積極的に進めてまいります。また、高齢者をターゲットとしたモーニングタイムの活用は、花見客の混雑緩和に寄与できる可能性もありますので今後、研究してまいります。
43	重点事業4	④に関して、市内ではPayPayは普及し問題なく使用できる店舗がほとんどです。しかし、インバウンドを意識したとなると中国系電子決済の表示がまだ少ないように思います。アリペイなど有名所の決済が出来るように市内の店舗に導入の指導をした方が良いと思います。	今後のインバウンド推進に向けて、多様な決済手法の導入について、外国人観光客目線での研究を進めてまいります。
44	重点事業3	桜祭りで実施された駐車場の予約制の件ですが、知らなかったという声をよく聞きました。予約制という事の周知と、予約できなかった人向けの駐車場対策を実施してほしいです。市民にバスや鉄道の専用チケットを販売することも試験的に実施してみても良いと思います。	令和5年の桜まつりにおいて「特別渋滞対策」を実施しましたが、周知の面で課題が残りました。次年度においては、より効果的・効率的な手法の導入と、十分な周知に努めてまいります。
45	重点事業2	コスプレイベントが世界的な広がりをみせています。イベントを行えばコスプレイヤーが本州はもとより、北海道、四国、九州からも集まります。市でも取り組むと良いと思います。	岡崎公園においても、ここ数年で複数回、コスプレイベントが開催されています。全国から多くの若者が岡崎公園に集まり、移動・宿泊・飲食・土産購入など、地域経済に貢献しています。今後も、様々な実施主体と連携し、多様な若者文化を活用した観光施策を進めてまいります。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
46	全体	観光施設が点在しているので、これを結びつける手段に、公共交通機関だけで行くことができるような交通機関の整備が必要。	観光周遊の足の確保については本市の課題と認識しています。鉄道、自家用車、路線バス、貸切バス、タクシー、シェアサイクル、徒歩など、様々な手段の組み合わせにより、観光客の快適な回遊を誘導・支援してまいります。
47	重点事業3	里山の自然環境の活用として、ハイキング、野鳥観察、棚田の見学、ラリージャパン岡崎を追加してほしい。	里山の自然環境を活用した観光コンテンツの企画・造成は本市の課題と認識しています。関係部署との連携のもと、中山間地域の活性化と合わせた取組を進めてまいります。
48	重点事業2	ナイトタイムエコノミーは、若者に限らないと思う。	本計画では、ナイトタイムエコノミーのターゲット設定を「若者」としておりますが、若者向けナイトエコノミーコンテンツが突破口となり、他の世代の誘客や地域の活性化につながっていくよう、波及効果を念頭に置いた取組として進めてまいります。
49	重点事業2	ナイトタイムエコノミーの意味を知らない人も多いので、夜間開催に変更し、奥山田のしだれ桜、奥殿陣屋のバラ、東公園の梅、かおれ溪谷の紅葉、東公園のしょうぶを追加してほしい。	ナイトタイムエコノミーについて用語解説を掲載しました。
50	重点事業3	愛知県ラーケーションの日が始まったので、岡崎ガラス工房葵やこども自然遊びの森、おかざき自然体験の森を活用する。	具体的な取組については本計画への記載は控えますが、自然環境を活用した体験型観光コンテンツの創出については引き続き、取り組んでまいります。
51	重点事業3	岡崎の産業に、花火や石細工、しめ縄の資料館を建設し、和太鼓の見学を追加してほしい。	ハード整備に関して本計画への記載はいたしません。本市の多様な産業・文化・芸術を観光資源として有効活用する取組は引き続き、継続してまいります。
52	重点事業3	観光文化施設に、おかざき世界こども美術博物館、美術博物館、市民会館、シビックセンター、岡崎城二の丸能楽堂、旧本多忠次邸、岡崎中央総合運動場、岡崎市ホテル学校、千万町楽校を追加して活用する。	当該施設の観光分野での活用については、引き続き、関係部署等と連携した取組に努めてまいります。
53	写真	山中八幡宮の写真の説明がほしい。	写真のキャプション「山中八幡宮」を「山中八幡宮/デンデンガッサリ」に修正します。
54	全体	観光資源や施設は、たくさんあるが、それを大切にしたい、それを伝えようとする市民を育てる視点に欠けている。もっと、市民を巻き込んでいく長期的な計画を考えることが大切。	本計画は、観光に対する市民の関心・参画・共感の醸成を目標として掲げています。本市の観光施策としては新しい視点であり、中長期的な取組として進めてまいります。
55	基本施策2	・観光資源となる岡崎独自の歴史資産のほか、当市へ毎年多くの来訪が見込まれる「岡崎JAZZストリート」などのジャズ文化やモータースポーツイベント「ラリージャパン」などの来訪の機会となる観光資源についても盛り込みたい。 ・同じく、四季を通じ自然・花（桜、藤、紅葉等）も楽しむ観光資源として大きな役割であり、年間を通じ来訪につながる景観づくりにも注力されたい。	基本施策2において、モータースポーツ及びジャズのまちの写真に掲載し、それらのコンテンツがファン獲得につながることを明示しました。

No.	該当箇所	意見等	市の考え方
56	重点事業3	⑦全国の自治体との観光分野における連携・交流について、既存ネットワークの連携・交流に留まらず、全国各地に潜在するゆかりの地とのさらなるネットワーク構築と観光交流の創出についても促進されたい。	関連する記載を追加しました。
57	全体	若者層(10～20代)、歴史観光層(50～70代)へのリピーター(ファン)づくりへの施策のほか、30～40代のファミリー層が来訪したくなる魅力ある観光資源の開発も必要と思われる。	基本施策3及び重点事業2において、30代を含めたりピーター(岡崎ファン)の獲得を目指してまいります。
58	全体	高齢者、障がい者へ配慮した観光施設のバリアフリー整備も必要と思われる。	ハード整備に関して本計画への記載はしていませんが、観光事業全般において高齢者や障がい者を含む多様な皆様に岡崎観光を楽しんでいただけるよう、ソフト面で工夫してまいります。
59	基本施策2	観光に欠かせない「食」について、観光客も手軽に楽しめる「岡崎の食文化」の促進も図られたい。「えびすくい(音頭)」に絡めた商品開発など。	いただいたご意見のとおり、観光と食を一体的に提案・提供できる観光コンテンツの開発に努めてまいります。
60	重点事業2	若者をターゲットにした取り組みは将来的にリピーターにつながる可能性もあり、良い取組みと感じている一方、消費額の増加につながるかが懸念。	民間事業者等と連携して若者向けのコンテンツの創出を通して周遊促進及び滞在時間の延伸を図り、観光消費の拡大につながるよう取り組んでまいります。
61	重点事業1	インバウンド誘客につながる体験コンテンツが不足していると感じる。	⑧にインバウンドに関する記載を追加しました。
62	全体	基本的には分かりやすく、ターゲットが明確化されていて理解しやすい。	ターゲットの明確化を通して、コンテンツ開発、広報プロモーション、効果測定などについて、戦略的に取り組んでまいります。
63	重点事業1	岡崎城下町のおかげ横丁を作る。	ハード整備に関して本計画への記載はしていませんが、「家康公生誕の城下町」という観光ブランディングの更なる確立に取り組んでまいります。